

第6回バイオサイエンスシンポジウム

6th Kanazawa University Bio-Science Symposium (KUBISS)

日時：平成17年12月15日（木） 13時00分～17時20分

場所：金沢大学自然科学系図書館大会議室（〒920-1192 金沢市角間町）

共催：自然計測応用研究センター、学際科学実験センター、工学部、理学部、薬学部
平成17年度重点研究「バイオとナノの融合技術とその新展開」、
化学工学会バイオ部会、共同研究センター

講演プログラム

- 13:00 -13:10 開会の挨拶
自然計測応用研究センター・センター長 柏谷健二 氏
- 13:10 -13:55 基調講演「大学発の研究成果を実用化するための一つの経験紹介」
中部大学 小林 猛 氏
- 13:55 -14:40 基調講演「デザイン志向の生物化学工学の将来展望」
東京大学 長棟輝行 氏
- 14:35 -14:50 休 憩
- 14:50 -15:15 バイオミネラリゼーション技術を駆使した大腸菌への
バイオレメディエーション機能付加
東北大学 梅津光央 氏
- 15:15 -15:40 活性酸素ストレスによる細胞生理の制御に基づいた
機能性バイオプロダクト生産技術の開発
神戸大学 勝田知尚 氏
金沢大学 荻野千秋 氏
- 15:40 -16:05 新しいフェノール系ポリマーの合成と固定化生体触媒への応用
金沢大学 小西玄一 氏
- 16:05 -16:30 物理的・化学的・酵素的タンパク質固定化のための表面修飾ガラス基盤の開発
九州大学 神谷典穂 氏
- 16:30 -16:55 非水系バイオプロセスで用いられる有機溶媒耐性生体触媒の開発
大阪府立大学 荻野博康 氏
- 16:55 -17:10 総合討論会(フリーディスカッション)
- 17:10 -17:15 閉会の挨拶
自然計測応用研究センター 清水宣明 氏